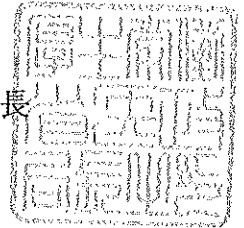


医政発 0712 第 1 号
平成 22 年 7 月 12 日

(社) 全日本病院協会会長殿

厚生労働省医政局長



看護職員就業状況等実態調査の実施について

看護行政の推進については、日頃よりご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成 21 年 3 月 17 日に「看護の質の向上と確保に関する検討会」(厚生労働大臣主催)において取りまとめられた中間とりまとめでは、看護職員の確保のため、働く意向がある潜在看護職員を把握する仕組みづくり、多様な勤務形態の導入や院内保育所の整備などによる就労継続及び再就業の支援体制の強化等が要請されるなど、看護職員確保対策の充実が求められたところです。

このため、今般、看護職員について就業者と離職者の就業状況等を把握し、看護職員の確保対策の課題を把握するとともに今後の在り方を検討するため調査を行うこととし、別添のとおり、各都道府県あて調査について依頼しました。

本調査については、各都道府県が看護師等学校養成所卒業生に対して調査を行うこととしております。

つきましては、各都道府県から看護師等学校養成所に協力依頼があった際には、貴会会員の設置する養成所についても御協力をいただきますようお願い申し上げます。



医政発 0712 第 1 号
平成 22 年 7 月 12 日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長

看護職員就業状況等実態調査の実施について

平成 21 年 3 月 17 日に「看護の質の向上と確保に関する検討会」（厚生労働大臣主催）において取りまとめられた中間とりまとめでは、看護職員の確保のため、働く意向がある潜在看護職員を把握する仕組みづくり、多様な勤務形態の導入や院内保育所の整備などによる就労継続及び再就業の支援体制の強化等が要請されるなど、看護職員確保対策の充実が求められたところである。

少子高齢化の現状及び今後増加する医療ニーズへの対応を図るためには、看護職員の養成数の確保及び定着促進並びに離職者の再就業支援等、多様な対策により看護職員の確保を促進する必要がある。

このため、今般、看護職員について就業者と離職者の就業状況等を把握し、看護職員の確保対策の課題を把握するとともに今後の在り方を検討するため下記のとおり調査を行うこととした。

本調査については、国及び各都道府県における看護職員の確保対策を策定する上での資料となるものであり、厚生労働省としては、全国の状況を把握する必要があると考えている。

貴職におかれては、本調査の趣旨について御理解の上、調査の実施に御協力願いたい。

記

- 1 調査方法については、別添 1 を標準として実施すること。
- 2 調査票については、別添 2 の調査票によって実施すること。
- 3 調査票の集計結果については、厚生労働省医政局看護課あて平成 22 年 12 月 28 日までに提出すること。
- 4 調査票の集計については別添 3 によって実施すること。
- 5 調査結果については、厚生労働省において公表する予定であること。

標準的な調査実施方法

1 調査対象等

1) 調査対象者

保健師、助産師、看護師又は准看護師（以下「看護師等」という。）の免許所持者（就業者及び離職者）

2) 調査対象施設

各都道府県において調査可能な看護師等学校養成所で卒業生名簿等を有する学校から、原則5校を抽出する。

3) 調査実施方法

- (1) 都道府県にて、調査対象施設を選定し調査を依頼
- (2) 看護師等学校養成所にて、卒業生名簿等を活用し、調査対象者を抽出
- (3) 看護師等学校養成所が対象者の調査協力の可否について確認し調査票を送付
- (4) 対象者は必要事項を記載した調査票又は回答票を看護師等学校養成所に返信
- (5) 看護師等学校養成所にて学校分を集計、都道府県へ報告
- (6) 都道府県にて都道府県内分を集計、厚生労働省へ報告
- (7) 厚生労働省にて全国分を集計、公表

4) 配布枚数

各都道府県調査枚数 800枚（全国計 約38,000枚）

調査票の配布に当たっては、原則として下記のとおりとしていただきたいこと。

20代、30代、40代、50代 各200枚 計800枚

2 調査実施時期

平成22年7月～平成22年11月

平成22年12月28日までに厚生労働省医政局看護課あて結果を送付いただきたいこと。

3 留意事項

回答は数値等として扱うこととし、個人情報の取扱いを慎重に行い、個別施設名や個人名が漏れることがないように留意する。また、回答は無記名とし、この調査への回答の有無、及びその内容によって、回答者に不利益となることのないよう留意する。

看護職員就業状況等実態調査への御協力をお願い

日頃より、看護行政の推進に御協力を賜り誠にありがとうございます。

厚生労働省においては安心して安全な医療提供体制を構築する観点から、チーム医療において重要な役割を担っている看護職員の確保対策に取り組んでいるところであり、就業継続や再就業支援を推進する対策が必要となっています。

このため、今回、看護職員の就業状況等の実態を調査し、厚生労働省における看護職員確保対策の参考とすることといたしました。

本調査は、厚生労働省が各都道府県を通じて、看護師等学校養成所の卒業生を対象に行うものです。

調査は無記名で行い、調査結果は数値として取り扱いますので個人が特定されることはありません。

御回答いただきました内容は**（集計を行う施設を記載）で集計し、厚生労働省で取りまとめをいたします。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、回答に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年*月*日

厚生労働省医政局看護課

(回答の方法)

1. 回答には10～15分ほどかかります。
2. 質問への回答について、回答用紙に御記入いただき、平成22年*月*日（*）までに、回答用紙のみを御返送ください。

(問い合わせ先)

* 都道府県担当部署を記載

(御返送先)

* 返送先を記載

看護職員就業状況等実態調査

〔回答方法〕

回答については特に断りのないものは、本年8月1日現在の状況をご記入ください。あてはまる番号又は数値等を回答票にご記入ください。質問に該当しない場合には空欄にしてください。

あなたご自身について

問1 年齢 () 歳

問2 性別 1 男 2 女

問3 住所地 () 都道府県

問4 配偶者の有無 1 未婚 2 既婚

問5 子どもの有無 1 いる 2 いない

問6 子どもがいる場合、人数と末子の年齢 問6-1 () 人、問6-2 末子は () 歳

問7 未就学のお子さんがある場合、日中の主な保育者(いずれか1つ)

1 あなた 2 あなたの配偶者 3 子の祖父母 4 保育所の保育士

5 ベビーシッターや保育ママ 6 その他

問8 同居のご家族で介護を必要とする方 1 いる 2 いない

問9 問8で介護を要する方が「1いる」場合、日中の主な介護者(いずれか1つ)

1 あなた 2 あなた以外の家族・親族 3 施設・事業所の職員 4 その他

問10 あなたが取得している免許(全て) 1 保健師 2 助産師 3 看護師 4 准看護師

問11 あなたの看護職員としての通算就業年数(離職期間を除く) () 年 () か月目

注1: 看護職員とは保健師、助産師、看護師、准看護師のいずれかをいいます。

注2: 就業年数には、産休、育休、長期研修等の期間を含みます。

問12 あなたが、これまで勤務先を退職した回数(看護職員としての業務に限る) () 回

注: 退職経験のない場合には「0」を記入してください。同一設置者内の転勤等は退職には含みません。

問13 あなたは、現在、所得を伴う仕事(パート、アルバイト等を含む)に就いていますか。あてはまる番号1つを選んでください。

1 看護職員として仕事に就いている → 調査A (P2) にお進みください

注: 産休・育児休業等の一時的な休業の場合は「1」を選択してください。

2 看護職員以外の仕事に就いている → 調査B (P4) にお進みください

3 仕事についていない

問13-1

ア 家事に従事している

イ 通学している

ウ その他

→ 調査B (P4) にお進みください

次頁からの質問は、以下のようにお答えください。

現在、看護職員として仕事に就いている方
〔調査A〕(P2) へ

・現在、仕事に就いていない方 又は
・看護職員以外の仕事に就いている方
〔調査B〕(P4) へ

これまで、勤務先を退職したことがある方
〔調査C〕(P6) へ

〔調査A〕 現在、看護職員として仕事に就いている方への質問

質問項目		選択肢	
A1	現在の就業先 (主たる従事場所、いずれか1つ)	1 病院 (病棟) 2 病院 (外来・その他) 3 診療所 (有床) 4 診療所 (無床) 5 訪問看護ステーション 6 助産所	7 介護保険施設等(1~5に該当するものを除く) 8 社会福祉施設(1~5、7に該当するものを除く) 9 保健所又は市町村 10 事業所(7、8に該当するものを除く) 11 看護師等学校養成所又は研究機関 12 その他
A2	現施設での就業年数	() 年 () か月日	注1:産休・育休・長期研修等の期間を含む 注2:同一設置者内の転勤等は通算して下さい
A3	現在の雇用形態 (いずれか1つ)	1 正社員 (「短時間正社員」を除く) 2 短時間正社員→【A3-1】【3-2】も回答 3 パート・アルバイト 4 派遣 5 その他	注:短時間正社員とは、正社員と比べて所定労働時間が短い正規型の労働者であって労働契約に期間の定めがなく、時間当たりの基本給、賞与、退職金等の算定方法等が正社員と同等である者。
A3-1	短時間正社員の方の就業時間	労働契約上の就業時間→1週間 () 時間 ←	
A3-2	短時間正社員の方の規定 (あてはまるもの全て)	1 短時間正社員制度を利用する場合の理由が限定されている (育児、介護等) ← 2 短時間正社員制度を利用できる期間が限定されている ← 3 短時間正職員制度の利用に当たって、理由・期間の限定はない	
A4	現在の勤務体制 (いずれか1つ)	1 3交代制 2 2交代制 3 日勤のみ 4 夜勤のみ 5 その他 (注:交代制勤務はなく、主に日中の勤務の場合は「3」を選択)	
A5	看護職員になってからこれまでに受けた支援・活用した制度等(それぞれの時期①~⑤について主なもの3つまでを以下から選んでください) *①~⑤の状況はあったが支援を受けなかった場合は「16」を選択。 *①~⑤の状況がなかった場合は空欄としてください。	① 第1子の妊娠・出産・育児の際 → [] [] [] ② 第2子以降の妊娠・出産・育児の際 → [] [] [] ③ 家族の介護の際 → [] [] [] ④ 就学の際 → [] [] [] ⑤ その他 () → [] [] []	1 夜勤の免除又は夜勤回数の軽減 2 時間外労働の免除 3 時差出勤・フレックスタイム 4 休日労働の免除 5 短時間勤務 6 院内・院外保育(就学前)→【A6】も回答 7 学童保育 8 ベビーシッター・保育ママ 9 病児・病後児保育 10 両親等、家族による育児の支援 11 育児休業 12 子の看護休暇 13 介護休業・介護休暇 14 配属部署についての配慮 15 転勤についての配慮 16 1~15の支援は受けていない
A6	延長保育等の利用(利用したもの全て)	1 延長保育→1回平均 () 時間程度 2 24時間保育→月平均 () 回程度	3 休日保育→月平均 () 回程度 4 1~3のいずれも利用しなかった
A7	A5の項目で受けたかったが受けられなかったもの(主なもの3つまで)	受けたかった支援 → [] [] []	
A8	A5の項目以外で受けたい支援等(自由回答)	[]	

質問項目		選択肢	
A9	育児休業とその期間 (回答者の取得について、第3子まで該当する場合に記入)	9-1 第1子→1 取得した(子の出生年齢・職 年) (子が 才 か月まで取得) 2 取得しなかった 9-2 第2子→1 取得した(子の出生年齢・職 年) (子が 才 か月まで取得) 2 取得しなかった 9-3 第3子→1 取得した(子の出生年齢・職 年) (子が 才 か月まで取得) 2 取得しなかった	
A10	就業継続等についてこれまで相談をした事項 (主なもの3つまで)	1 職場での看護業務に関すること 2 就業の継続・離職に関すること 3 就業条件に関すること 4 人間関係に関すること	5 自分や家族の健康に関すること 6 子育てに関すること 7 その他 8 相談したことはない→【A11】へ
A10-1	相談した相手(特に意義のあった相手いずれか1つ)	1 職場の上司 2 職場の同僚 3 職場の人事担当者 4 職場の教育担当者	5 外部の相談機関 6 親族 7 友人・知人 8 その他
A11	今後、就業に関する相談をしたい相手(いずれか1つ)	1 職場の上司 2 職場の同僚 3 職場の人事担当者 4 職場の教育担当者 5 外部の相談機関	6 親族 7 友人・知人 8 その他 9 相談したいことはない
A12	今後の就業予定 (いずれか1つ)	1 現在の施設で看護職員として働きたい→【A13】へ 2 他施設で看護職員として働きたい 3 看護職員以外として働きたい 4 仕事はしない 5 未定	} →【A14】へ →調査C(P6)へ
A13	現在の施設で看護職員として働きたい理由 (主な理由3つまで)	1 育児支援策が充実しているから 2 福利厚生が充実しているから 3 通勤が便利だから 4 人間関係がよいから 5 勤務時間が希望にあっているから 6 短時間勤務ができるから 7 休暇がとりやすいから 8 給与が希望にあっているから 9 夜勤を軽減する体制があるから	10 医療安全対策が充実しているから 11 看護配置が充実しているから 12 看護ケアが充実しているから 13 教育体制が充実しているから 14 キャリアアップの機会があるから 15 相談支援体制が充実しているから 16 定年後も働ける仕組みがあるから 17 その他
A14	A12で2~4と回答した方はその理由 (主な理由3つまで)	1 出産・育児のため 2 結婚のため 3 本人の健康問題のため 4 家族の健康問題・介護のため 5 通勤が困難なため 6 進学のため 7 他施設への興味 8 他分野(看護以外)への興味 9 人間関係がよくないから 10 超過勤務が多いため	11 休暇がとれない・とりづらいため 12 給与に不満があるため 13 夜勤の負担が大きい 14 責任の重さ・医療事故への不安があるため 15 教育体制が充実していないため 16 キャリアアップの機会がないため 17 定年退職のため 18 看護職員にむかなかったため 19 その他

これまで、看護職員としての勤務先を退職したことがある方は【調査C】(P6)へ

〔調査B〕 現在、仕事に就いていない方

現在、看護職員以外の仕事に就いている方への質問

質問項目		選択肢
B1	看護に関する仕事を辞めてから現在までの期間	()年()か月目
B2	今後の就業希望 (いずれか1つ)	1 看護職員として働きたい → 【B4】以降の全ての質問に回答してください 2 看護職員以外として働きたい } 【B3】のみ回答してください 3 就業希望なし 4 未定
B3	B2で2~4と回答した方はその理由(主な理由1つ) ↓ 【回答後、調査Cへ】	1 家事・育児のため仕事が続けられそうにない 2 家族の理解が得られない 3 本人の健康問題 4 家族の健康問題・介護のため 5 看護業務から離れていたことによる不安がある 6 再就職に必要な情報が得られない 7 勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない 8 自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない 9 急いで仕事につく必要がない 10 その他
B4	今後看護職員として働きたい、と回答した方はその理由(主な理由1つ)	1 収入を得る必要が生じた 2 知識や技術を生かしたい 3 社会にでたい 4 生きがいをもつため 5 子育てにめどがついた 6 家族の健康問題・介護にめどがついた 7 時間に余裕ができた 8 (回答者本人が)学校を卒業した 9 その他()
B5	希望する再就職時期(最も希望するもの1つ)	1 既に再就職が決まっている 2 すぐにでも再就職したい 3 数年後に再就職したい 4 (回答者本人の)学校卒業後に再就職したい 5 未定
B6	希望する雇用形態(最も希望するもの1つ)	1 正社員(「短時間正社員」を除く) 2 短時間正社員 → 【B6-1】も回答 3 パート・アルバイト 4 派遣 5 その他 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;">注: 短時間正社員とは、正社員と比べて所定労働時間が短い正規型の労働者であって労働契約に期間の定めがなく、時間当たりの基本給、賞与、退職金等の算定方法等が正社員と同等である者。</div>
B6-1	短時間正社員を希望する場合の就業時間	労働契約上の就業時間 → 1週間()時間程度を希望
B7	希望する勤務体制(最も希望するもの1つ)	1 3交代制 2 2交代制 3 日勤のみ 4 夜勤のみ 5 その他 (注: 交代制勤務はなく、主に日中の勤務の場合は「3」を選択)
B8	再就職に際しての不安(最も大きなもの1つ)	1 家事・子育てと両立できるか 2 保育など育児支援体制の確保 3 家族の健康問題・介護への対応 4 交代勤務に対応できるか 5 最新の看護の知識・技術に対応できるか 6 再就職者に対する教育体制が整っているか 7 その他() 8 不安はない

質問項目		選択肢	
B9	再就職をするために必要な支援・制度等(主なもの3つまで)	1 夜勤の免除又は夜勤回数の軽減 2 時間外労働の免除 3 時差出勤・フレックスタイム 4 休日労働の免除 5 短時間勤務	6 院内・院外保育(就学前)→【B10】も回答 7 学童保育 8 ベビーシッター・保育ママ 9 病児・病後児保育 10 1～9の支援は必要ない
B10	延長保育等(あてはまるもの全て)	1 延長保育→1回平均()時間程度 2 24時間保育→月平均()回程度	3 休日保育→月平均()回程度 4 1～3のいずれも必要ない
B11	B9の項目以外で再就職時に受けたい支援(自由回答)	[]	
B12	再就職時の研修(いずれか1つ)	1 希望する→【B12-1】【B12-2】も回答	2 希望しない→【B13へ】
B12-1	研修希望場所(主なもの3つまで)	1 就職する施設 2 近隣の医療機関等	3 都道府県やナースセンター(ナースバンク)等の施設 4 その他()
B12-2	研修を希望する場合の内容(主なもの3つまで)	1 看護技術 2 治療等に関する医学的知識 3 薬剤に関する知識 4 医療安全に関する知識 5 ITに関する知識・技術	6 保健医療福祉制度に関する知識 7 医療機関での見学実習 8 専門分野に関する知識・技術 9 その他()
B13	再就職先を探す際に利用している、又は利用したい施設等(主なもの3つまで)	1 ナースセンター(ナースバンク) 2 ハローワーク(公共職業安定所) 3 民間の職業紹介所 4 医療機関等のホームページ 5 求人広告・求人情報誌	6 医療機関等の説明会 7 友人・知人による紹介 8 出身学校・先生による紹介 9 前の職場による紹介 10 その他
B14	現在、求職活動をしていますか(いずれか1つ)	1 している→【B15】へ	2 していない→【B16】へ
B15	求職活動をしているが就職できない理由(主な理由1つ)	1 子どもをあずけるサービスが見つからない 2 賃金・給料が希望と合わない 3 勤務時間・休日が希望と合わない 4 求人の年齢と自分の年齢とが合わない	5 自分の技術や能力が求人要件に合わない 6 希望する内容・職場の求人がない 7 その他()
B16	就職を希望しているが、求職活動をしていない理由(主な理由3つまで)	1 家事・育児のため仕事が続けられそうにない 2 家族の理解が得られない 3 本人の健康問題 4 家族の健康問題・介護のため 5 看護業務から離れていたことによる不安がある 6 再就職に必要な情報が得られない	7 子どもをあずけるサービスがない 8 勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない 9 自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない 10 急いで仕事につく必要がない 11 家事・育児に専念したい 12 その他()



これまで、看護職員としての勤務先を退職したことがある方は【調査C】(P6)へ

〔調査C〕 これまで、勤務先を退職したことがある方（看護に関する仕事に限る）への質問

最も最近退職した施設についてご記入ください

質問項目		選択肢	
C1	退職した施設 (いずれか1つ)	1 病院 (病棟) 2 病院 (外来・その他) 3 診療所 (有床) 4 診療所 (無床) 5 訪問看護ステーション 6 助産所	7 介護保険施設等(1～5に該当するものを除く) 8 社会福祉施設(1～5、7に該当するものを除く) 9 保健所又は市町村 10 事業所(7、8に該当するものを除く) 11 看護師等学校養成所又は研究機関 12 その他
C2	退職理由 (主な理由 3 つまで)	1 出産・育児のため 2 結婚のため 3 本人の健康問題のため 4 家族の健康問題・介護のため 5 通勤が困難なため 6 進学のため 7 他施設への興味 8 他分野 (看護以外) への興味 9 人間関係がよくないから 10 超過勤務が多いため	11 休暇がとれない・とりづらいため 12 給与に不満があるため 13 夜勤の負担が大きいため 14 責任の重さ・医療事故への不安があるため 15 教育体制が充実していないため 16 キャリアアップの機会がないため 17 定年退職のため 18 看護職員にむかなかったため 19 その他
C3	退職後、看護の仕事に復帰した場合、再就職までの期間 (いずれか1つ)	1 1年未満 → 【C4】以降回答不要 2 1～3年未満 3 3～5年未満	4 5～10年未満 5 10年以上 6 再就職していない→ 【C4】以降回答不要
C4	離職期間 1 年以上の方の再就職理由 (主な理由1つ)	1 収入を得る必要が生じた 2 知識や技術を生かしたい 3 社会にでたい 4 生きがいをもつため	5 子育てにめどがついた 6 時間に余裕ができた 7 学校を卒業した 8 その他 ()
C5	再就職先を選んだ理由(主な理由3つまで)	1 育児支援策が充実しているから 2 福利厚生が充実しているから 3 通勤が便利だから 4 人間関係がよいから 5 勤務時間が希望にあっているから 6 短時間勤務ができるから 7 休暇がとりやすいから 8 給与が希望にあっているから 9 夜勤を軽減する体制があるから	10 医療安全対策が充実しているから 11 看護配置が充実しているから 12 看護ケアが充実しているから 13 教育体制が充実しているから 14 キャリアアップの機会があるから 15 相談支援体制が充実しているから 16 定年後も働ける仕組みがあるから 17 その他

質問項目		選択肢	
C6	再就職の際に受けた支援・活用した制度等（主なもの3つまで）	1 夜勤の免除又は夜勤回数の軽減 2 時間外労働の免除 3 時差出勤・フレックスタイム 4 休日労働の免除 5 短時間勤務	6 院内・院外保育(就学前)→【C7】も回答 7 学童保育 8 ベビーシッター・保育ママ 9 病児・病後児保育 10 1～9の支援は受けていない
C7	延長保育等の利用（利用したもの全て）	1 延長保育→1回平均（ ）時間程度 2 24時間保育→月平均（ ）回程度	3 休日保育→月平均（ ）回程度 4 1～3のいずれも利用しなかった
C8	再就職前後の研修等	1 受けた→【C8-1】【C8-2】も回答	2 受けていない→【C9へ】
C8-1	研修場所（主なもの3つまで）	1 就職する施設 2 近隣の医療機関等	3 都道府県やナースセンター(ナースバンク)等の施設 4 その他（ ）
C8-2	研修内容（主なもの3つまで）	1 看護技術 2 治療等に関する医学的知識 3 薬剤に関する知識 4 医療安全に関する知識 5 ITに関する知識・技術	6 保健医療福祉制度に関する知識 7 医療機関での見学実習 8 専門分野に関する知識・技術 9 その他（ ）
C9	再就職先を探す際に利用した施設等（主なもの3つまで）	1 ナースセンター（ナースバンク） 2 ハローワーク（公共職業安定所） 3 民間の職業紹介所 4 医療機関等のホームページ 5 求人広告・求人情報誌	6 医療機関等の説明会 7 友人・知人による紹介 8 出身学校・先生による紹介 9 前の職場による紹介 10 その他
C9-1	C9のうち、実際に就職に結びついたもの（いずれか1つ）	1 ナースセンター（ナースバンク） 2 ハローワーク（公共職業安定所） 3 民間の職業紹介所 4 医療機関等のホームページ 5 求人広告・求人情報誌	6 医療機関等の説明会 7 友人・知人による紹介 8 出身学校・先生による紹介 9 前の職場による紹介 10 その他
C10	再就職時の雇用形態（いずれか1つ）	1 正社員（「短時間正社員」を除く） 2 短時間正社員 →【C10-1】も回答 3 パート・アルバイト	4 派遣 5 その他
C10-1	短時間正社員の方の就業時間	労働契約上の就業時間→1週間（ ）時間	
C11	再就職時の勤務体制（いずれか1つ）	1 3交代制 2 2交代制 3 日勤のみ 4 夜勤のみ 5 その他 (注：交代制勤務はなく、主に日中の勤務の場合は「3」を選択)	

調査にご協力いただきましてありがとうございました。

看護職員就業状況等実態調査(回答票)

・回答欄にあてはまる番号又は数値等をご記入ください。

・回答欄の質問番号に「*」のある場合で「その他」の選択肢を選んだ場合には、具体的な内容を自由記載欄にご記入ください。

問1	問2	問3	問4	問5	問6-1	問6-2	問7	問8
歳		都道府県			人	歳		

問9	問10	問11	問12	問13	問13-1
		年 月	回		

〔調査A〕現在看護に関する仕事に就いている方

A1	A2	A3	A3-1	A3-2	A4	A5①	A5②	A5③
	年 月		時間					

A5④	A5⑤の状況	A5⑤	A6	A6 延長保育	A6 24時間保育	A6 休日保育	A7
			時間		回	回	

	A9-1			A9-2			A9-3		
A8	第1子	子の出生年	期間	第2子	子の出生年	期間	第3子	子の出生年	期間
自由記載欄 へ		昭和 平成 年	才 月 まで		昭和 平成 年	才 月 まで		昭和 平成 年	才 月 まで

A10	A10-1	A11	A12	A13	A14

〔調査B〕現在仕事についていない方、現在看護以外の仕事に就いている方

B1	B2	B3	B4*	B5	B6	B6-1	B7	B8*
	年 月					時間		

B9	B10	B10 延長保育	B10 24時間保育	B10 休日保育	B11	B12	B12-1*	B12-2*
		時間	回	回	自由記載欄 へ			

B13	B14	B15*	B16*

〔調査C〕これまでに、勤務していた施設を退職したことがある方

C1	C2	C3	C4*	C5	C6	C7	C7 延長保育	C7 24時間保育
							時間	回

C7 休日保育	C8	C8-1*	C8-2*	C9	C9-1	C10	C10-1	C11
回							時間	

◎自由回答欄（具体的な内容をご記入ください）

〔調査A〕

【A8】	
------	--

〔調査B〕

【B4】	
【B8】	
【B11】	
【B12-1】	
【B12-2】	
【B15】	
【B16】	

〔調査C〕

【C4】	
【C8-1】	
【C8-2】	

〔入力要領〕

1. 「都道府県番号」の列については、下記のうち該当するものを入力する。
1 北海道、2 青森県、3 岩手県、4 宮城県、5 秋田県、6 山形県、7 福島県、8 茨城県
9 栃木県、10 群馬県、11 埼玉県、12 千葉県、13 東京都、14 神奈川県、15 新潟県
16 富山県、17 石川県、18 福井県、19 山梨県、20 長野県、21 岐阜県、22 静岡県
23 愛知県、24 三重県、25 滋賀県、26 京都府、27 大阪府、28 兵庫県、29 奈良県
30 和歌山県、31 鳥取県、32 島根県、33 岡山県、34 広島県、35 山口県、36 徳島県
37 香川県、38 愛媛県、39 高知県、40 福岡県、41 佐賀県、42 長崎県、43 熊本県
44 大分県、45 宮崎県、46 鹿児島県、47 沖縄県
2. 「番号」の列については、回答のあった対象について「1」から通し番号を入力する。
3. 「問3」の列については、該当する都道府県の名称を入力する。（「〇〇県」「〇〇府」のように「都道府県」まで入力する。）
4. 「問10」の列については、該当する番号を左詰めで入力する。（他の複数回答の質問についても同様）
5. 「問13」に回答がない場合であって、調査Aに回答があり、現在就業中と考えられる場合には、問13について「1」を入力する。
6. 時間数の記入欄等では整数での回答を前提としているが、小数点以下の数値の記載があった場合には、小数点以下は切り捨てて入力する。
7. 各質問への回答について、指定の数よりも多く選んでいる場合には、該当する質問についての入力はせず、空欄とする。
8. 数値、カタカナは半角で入力する。
9. 質問に回答がない場合には、集計表は空欄にする。
10. 自由回答欄については、大まかな内容を入力する。